

平成20年度 柏市保健衛生審議会・各部会の経過と概要

<p>部会名 又は 専門分科会名</p>	<p>保健所運営部会</p>
<p>所属委員  (五十音順)</p>	<p>会長 宮地 直丸 委員 副会長 井上 則子 委員 齊藤 紀夫 委員 妹尾 桂子 委員 坂口 洋 委員 小竹 恵子 委員 寺嶋 稔 委員 金井 順一 委員 宮本 守 委員 佐藤 貞雄 委員 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">計10名</span></p>
<p>経過と概要</p>	<p>第1回 保健所運営部会（開催日 H20.11.25） 議題：(1)伊藤ハム等の事案の検証 (2)食品衛生施策の検証 概要：中国産冷凍インゲン事案及び伊藤ハム事案（別添資料参照）について，市民等への情報提供，事業者等への指導，危機管理体制について保健所の対応の検証を行った。 また，食品衛生監視指導計画の事項，監視指導の方法・頻度，食品衛生の意識の高揚など食品衛生施策の検証も行った。</p> <p>第2回 保健所運営部会（開催日 H21.2.16） 議題：(1)食品に関する危機管理事案（伊藤ハム）の報告 (2)その他 概要：食品に関する健康危機事案（伊藤ハム等）の報告及び食の安全・安心について前回の部会の検証内容を踏まえて，今後の食の安全・安心について具体的な方針を示した。</p>
<p>添付資料</p>	<p>平成21年度柏市食品衛生監視指導計画</p>
<p>平成21年度の予定</p>	<p>審議に付すべき案件が出た際に開催</p>

## 平成20年度 柏市保健衛生審議会・保健所運営部会の経過と概要

### (資料)

No. 1

#### (1) 中国産冷凍インゲン事案に係る市の対応

東京都八王子市内で中国産冷凍インゲンから農薬のジクロルボスが高濃度に検出されたと国の報道発表が、平成20年10月15日午前零時にあった。

ところが、同じ製品で同様の日付とロット番号(同一条件で製造された製品の集まりの番号)を食べた柏市民から異常があるとの苦情が、午前10時に30代の男性、11時40分に30代の女性から相次いで保健所に電話連絡があり、嘔吐や舌がしびれたり症状があるとのことだった。

市保健所では、通報を受けた後柏警察に連絡し、合同で通報者宅に出向き、健康調査・喫食調査などの聞き取り調査を行ない、冷凍インゲンの残品も回収した。検査は千葉県衛生研究所で行ったが、ジクロルボスを含む農薬はすべて検出されなかった。

情報提供は、発生した当日は報道発表、検査結果についても  
10月16日に記者会見で公表した。

## (2) 伊藤ハム事案に係る市の対応

伊藤ハムが管理する専用水道の自主検査において、シアン化合物と塩素酸が水道法で定める水質基準を超えて検出された。

3本ある井戸の中で、シアン化合物は2号及び3号の井戸の浄水、2号井戸の原水から検出された。

伊藤ハムでは、水質基準に適合しない水を使用して製造した製品の自主回収を行った。また、シアン化合物が検出された原因究明の調査を行なうとともに、平成20年10月29日から操業を停止した。

今回の事案の主な原因は、シアン化合物については、浄水は消毒剤の次亜塩素酸ナトリウムの管理ミスであった。原水は、検出されたのは伊藤ハムでの検査の1回のみで、その後周辺井戸を検査したがシアン化合物は検出されず、原因は不明だった。塩素酸は、品質の悪い次亜塩素酸ナトリウムの使用及び貯留タンクでの保管が適正でなかったことが原因だった。

No. 2

伊藤ハムの対策は、2号井戸の使用を全面的に停止し、上水道を導入した。食品の製造には、上水道及びシアン化合物が検出されなかった1号井戸を使用し、3号井戸浄水は環境用として床洗浄水、空調冷却水等の用途に使用することとした。消毒剤は水道一級品に変更した。また、管理体制の改善としては、行政への報告が遅れたことも今回の事故の一因だったので報告管理体制の強化を図り、マニュアルの改訂や従業員の再教育なども行った。

市保健所の対応は、平成21年1月19日、使用水・食肉製品及び施設の衛生状態の検査の結果、安全性及び管理体制に問題のないことを伊藤ハムに説明した。

平成21年1月20日伊藤ハムは操業を再開した。なお、伊藤ハムは、当面の間、製造に使用する1号井戸水のシアン化合物濃度のモニタリングを行いながら、調査対策委員会でシアン化合物検出の原因究明を行っていく意向である。